



# 伊豆の国市 議会だより

2010年5月1日発行  
**No. 18**

編集・発行  
伊豆の国市議会だより特別委員会  
〒410-2292 静岡県伊豆の国市長岡340-1  
☎055-948-1417 FAX 055-948-2913



大仁東小学校閉校

## 3月定例会

一般質問 .....	2
特別委員会報告・設置 .....	8
委員会報告 .....	9
議案一覧 .....	12

# 議員の問いと行政の答え



# 一般質問

一般質問は14名が行い、当局の考え方を質しました。

## 生ゴミ堆肥化施設について

鈴木幸雄

**問** この施設の完成と堆肥配布の時期は。また、施設の拡張計画は。なぜ単独で行うのか。

**答** 平成二二年八月に完成し、平成二三年一月より堆肥配布の見込みです。製造堆肥の結果を受け施設拡張を考慮したいです。事業は市の総合計画に位置づけられています。伊豆市には県営のバイオガスプラントがあります。

**問** 一般世帯の生ゴミや農産物堆肥の残渣は。また、配布の方法は。

**答** 一般世帯の生ゴミは、一部の地区をモニターとして回収を考えています。農産物残渣については今後研究していきたいです。配布の方法は「まちづくり推進会議」で販売計画も含め検討していきます。

**問** 堆肥の分析や委託業者の決定は。

**答** 年一回（成分・熟度・窒素・無機化率・残留

**問** 農薬・重金属等）の分析を行います。残留農薬クロピラリドについては、感受性作物を使った安全性の試験を行います。また、生ゴミ堆肥化事業は市直営で行います。

## 反射炉自然公園について

**問** 遊具の設置と遊歩道橋の整備、および、周辺の整備は。

**答** 遊具は、事業の主旨から外れるので設置の予定は無く、遊歩道橋は大変費用がかかり実施は難しいです。反射炉を中心に県道、駐車場、遊歩道や自然景観の整備は今後進めていきたいです。

## 土地改良事業について

**問** 国の土地改良事業縮減の市事業への影響は。

**答** 県営農村振興総合整備事業と、湛水防除事業が該当します。平成二二年分は事業への影響は無いと考えますが、平成二三年以降は変動することが考えられ、採択の遅れ等が推測されます。

**問** 葦山土地改良区に係る費用は全額補助金で。

**答** 職員に係る部分は対象となりません。

## 伊豆の国市の

## 食育基本計画について

柴田三智子

**問** 伊豆の国市の食育基本計画の策定予定は。

**答** 現在一七名の委員で三月末までに策定する予定で取り組んでいます。

**問** 園児・児童・生徒とその保護者に対して行っている食育事業は。

**答** 「塩山式手ばかり法」を用いた食育事業を

行っています。小四・中一の生徒を対象に、生活習慣病予防教室・「元気づ子スクール」など、保護者と子ども向けに夏休み料理教室を開催しています。

**問** ※一回の食事に摂取すべき食事の量を手のひらで量る方法

**答** 小・中学校の「お弁当の日」を、子ども達自身に地域の食材を利用して、お弁当作りをさせ、食の大切さを学ばせる機会を作ってみては。

**問** 「お弁当の日」は、遠足とか体育祭のときだけですので、その時のおかずの中に地域の食材を利用するよう保護者へ呼びかけていきます。子どもが作る「お弁当の日」の取り組みは、小・中学校へ働きかけます。

**答** 平成二二年度の子育て支援事業は。

**問** 新年度の講座では、虐待の自覚のある保護者を対象にグループを構成します。子どもの年齢が小さいう

ています。

ています。

ちに、子育てに関する具体的な方法を学んでいただき、児童虐待の防止を図ります。

父親の子育て講座に関しましては、次世代育成支援行動計画による、父親の子育て参加への呼びかけも積極的に考え取り組んでいきます。



「子どもまち」の風景

### 障がい者などへ

#### 自動車改造費助成を

三好陽子

**問**

障がいを持たれ、通常のないため、改造したいと希望している方がいる。社会参加を促進するためにも、自動車改造費用の助成制度を設けるべきではないか。

**答**

近隣市町の状況や内容も参考にして、自動車改造費の助成制度を設けていきたい。

#### 水道料金の統一は

##### 十分な議論で低料金に

**問**

水は生存に欠かせないものであるため、水道料金は低く抑える必要がある。このため三町一元化に伴う総事業費四八億円の財源として、一般会計からの繰入れや合併特例債の活用も検討すべきではないか。

**答**

平成二二年度予定の鳴沢配水池耐震補強工事は、県費補助で実施する。合併特例債は、三割は一般財源を充てることになり、財政が厳しいので活用は見送った。

#### 改善センター・市民会館、整備と管理しつかりと

##### 改善センター天井照明切れ、机やカーテンの不備、スリッパ不足。また、大仁市民会館大ホール放送装置のわかる係員おらず、参加者に迷惑をかけた等の苦情があった。整備と管理しつかりすべきだと思うが。

**問**

改善センター天井照明切れ、机やカーテンの不備、スリッパ不足。また、大仁市民会館大ホール放送装置のわかる係員おらず、参加者に迷惑をかけた等の苦情があった。整備と管理しつかりすべきだと思うが。

**答**

改善センターの机とカーテン・スリッパはすぐに対応した。この件を受け、再度物品管理の徹底と放送装置操作マニュアルにより指導徹底を図り、ご迷惑をお掛けしないように改善していきたい。

う答えていくのか伺いたい。

①候補地として四つ選んだとされている。地元住民の意見にどう

②住民の意見の中で次の二点についてどの様に考えていますか。

ア、大仁町のゴミ受け入れ時に、伊豆長岡町が花坂地区からの質問書へ回答した文書はありましたか。

イ、花坂地区住民の健康被害への不安を考え、他の地域への施設建設はどう考えますか。

③住民参加を考えた進め方が必要と思うがどうか。

**答**

①選ばれた地域が混乱するので公表は控えない。  
②ア、回答書があるのは事実ですが、この事業の理解を得る為の努力をし、事業を進めていきたい。  
イ、行政の一方的な押し付けにならない様理解を求めていく。

#### 南江間元伊豆箱根グラウンドの地元利用の早期実現を

**問**

グラウンドの有効活用について、多目的広場として整備計画を検討していることですが、今後の計画は。

**答**

この場所が埋蔵文化財のある区域に指定されているので、文化財保護法の手続を得たうえで整備期間を検討する。

#### 観光事業活性化の具体策は

**問**

長びく不況のもと観光事業の将来を見据えた対策が必要と思われるが、観光事業には出来る限りの支援をしていく。

**答**

観光事業には出来る限りの支援をしていく。

#### 順天堂病院移設問題

後藤眞一

**問**

順天堂の移設問題についての認識は。

**答**

移転問題と言うのはない。市民に重要な病院



耐震工事をすすめる鳴沢第2配水池

#### 広域ゴミ処理施設建設計画の進捗状況は

高橋公一

**問**

伊豆の国市の現焼却施設隣接地を次の候補地として、地元説明会を開催している。地元住民の意見にどう

伊豆の国市の現焼却施設隣接地を次の候補地として、地元説明会を開催している。地元住民の意見にどう

であり、地域医療の充実を目指す。

病院側からは、地元の高い要望と協力が得られれば、引き続きこの地で貢献していきたいと言っ見解を言された。

市も静雲荘跡地を取得して無償で提供したいが、議論あると思うので十分に協議していきたい。

周辺市町では、重要性を理解するも、各市町の事情があり足並みはそろわない。

**廃校の活用について**

**問** 高原・田中山分校及び大仁東小跡地の利活用計画は。

**答** 地域の方々の参加をいいただき、跡地利活用委員会を立上げ、検討する必要がある。

その際に「東小・さつきヶ丘公園一帯を野外活動拠点施設に」の意見も参考にする。

**図書館運営について**

**問** 図書館利用状況と国民読書年に読書の底上げを図る計画を。また、独自機関紙で発信しては。

**答** 入館者・資料貸出は減少しているが、図書資料・視聴覚資料貸出点数は増加。インターネットでの検索や予約は増加。

学校等へは、団体貸出・出張読み聞かせなど連携を図っている。新着本やイベント情報・定期お話し会・読書講演会等計画。充実させていきたい。

を進めるべきではないか。

**答** デジタル化を進めていくが、当面の間、アナログ併用にし、戸別受信機を継続使用できるようにする。防災ラジオについては検討をしていく。



三島市の防災ラジオ

**市内の建築業者に仕事を**

**問** 建築業者支援策として、市民が市内業者を利用して行う家の新築や改築の費用の一部を助成する「リフォーム補助」をしてはどうか。

**答** そのような制度は必要かと思う。建築組合、商工会などと話していきたい。持ち家を増やし税収を上げたい。

**保育園の待機児童は**

**問** 市内の保育園の待機児童の状況と、今後の入園希望増加に備える対策は。

**答** 受入は定員の一二五%まで認められている。待機児童はいない。

今後は、堀越保育園建設に伴い面積確保、定員見直し、私立保育園と協力をしていきたい。

**平成二二年度予算編成と今後の財成見通しについて**

土屋紀男

**問** 今年度の予算の自主財源は初めて五〇%を割り、市税の増収が重要課題と思われるが、その見通しは。

**答** 税の公正公平の観点から、迅速な滞納処分の強化を図り、電話催告事業、インターネット公売等の徴収対策を強化して、自主財源の増収を図って行きたい。

**増収策として**

**問** スポーツ施設を充実し、各種大会や合宿等を広域で取り組み、宿泊客の増加を図り経済効果に結び付けて行く考えは。

**答** 新たな運動公園の建設は大変厳しい。葦山運動公園、さつきヶ丘公園等の改良等を行い、既存施設を活かしニーズに応えたい。

**地球温暖化防止対策について**

**問** 地球温暖化対策CO<sub>2</sub>削減における、実績と効果及び、今後の取組について。

**答** 公用車燃料、電気使用量等削減となり、職員省エネへの意識が非常に高くなって来ている。今後、長岡庁舎に太陽光発電システム設置や、照明器具の省エネ化を実施し、平成一七年度比九%の削減が可能となる。

**問** 住宅用太陽光発電システム補助金制度は。

**答** システム機器1kw当たり  
三万五〇〇〇円、上限一  
四万円を平成二四年まで  
の三年間補助を受け入れら  
れる。また、太陽熱温水器、  
給湯器、燃料電池等のシス  
テム機器を二つ以上設置す  
る場合は、平成二二年度に限  
り、県より上乗せで補助を受  
けられる。



住宅用太陽光発電システム設置

**問** 既存の設置状況と、今  
後の設置計画は。

**答** 平成一七年度富士美幼  
稚園に、平成二一年度

には長岡中・葦山中学校、平  
成二二年度以降も、公共施設  
への積極的導入を考えている。

### 保育料の二人目以降無料化と 幼保一元化について

秋田 清

#### 幼保一元化について

**問** 幼児教育における幼保  
一元化の導入について、

県は来年度、幼保一元化に本  
格的に着手するようですが  
本市で施設を設置する考え  
は。また連携体制について伺  
いたい。

**答** 市では、お互いの良さ  
を生かし、園児や保護

者の視点に立ったより良い  
教育を行なおうとするもの  
と考え、既に両園の担当課を  
同じ教育委員会に置いてい  
る。施設は別々のままで、運  
営面の一元化を続けて行きた  
い。

#### 保育料の二人目以降 無料化について

無料化について

**問** 本年四月より三島市、  
函南町に続いて病児病

後児保育を実施され、市民に  
とって住みやすい環境づくり  
を率先していただいている。

財成的な運営の厳しさはわ  
かっているが、将来の伊豆の  
国市を担うため、人口を増や  
す為、子供の安心・安全に配  
慮して無料化に取り組んで欲  
しい。また、市内に住み子育  
てをしたいと思う市民を支援  
するために、幼保の二人目以  
降の保育料を無料化できない  
か。高齢化を迎える中で伊豆  
の国市の発展や人口増加に繋  
がると考える。

**答** 市民にとって子育てし  
やすい環境づくりのため

に地域子育て支援センター  
二箇所・児童館・放課後教室  
六箇所の運営をしております。  
平成二二年度からは病児病後  
児保育の実施を予定している。  
二人目以降の無料化を実施し  
た場合、かなりの収入減とな  
り財的に非常に厳しい。今  
後も負担をお願いしたい。



富士美幼稚園

### エコアクション21認証 普及について

水口 哲雄

**問** 二二世紀は、環境の世  
紀と呼ばれることにな  
るでしょう。特に温室効果ガ  
スの削減は世界的な問題で  
待った無しです。そんな中、  
当市がエコアクション21の認  
証を取得したことは素晴らしい  
と思います。

取得を目指す企業・業者に  
対する補助、助成については  
考えていますか。

**答** 取得に係る経費の一部  
を補助することや、エ  
コ診断などで市で協力できるこ  
とを考えています。

**問** 認証取得を入札参加条  
件にすることを考えた  
いこのことですか。

**答** 今後は、普及推進を図  
るため、入札における  
指名基準の評価に加えて行き  
たいと考えています。

**問** 市民への普及を図るた  
め、市独自の施策を考  
えていますか。

**答** 様々な施策を考えて、  
市民の意識を高めてい  
きたいです。

### スポーツワールド跡地に 医科大学誘致を

**問** 面積一三万坪のスポー  
ツワールド跡地は、市

有地の中で最大最高の財産  
です。この土地の有効活用が  
市の将来を左右します。様々  
な考え方があろうと思うが、医  
科大学の誘致はどう思います  
か。

**答** 経済波及効果や人口  
増加が見込める計画に

したい。企業誘致も可能性の一部だが、医大誘致も企業誘致と考えます。相手のあることなので、意見がまとまれば前向きな検討が必要になると思います。

コンビニで住民票・

印鑑証明書取得可能に

古屋 鋭治

**問** セブンイレブンが二月から始めた行政サービスは、五月には全国展開の計画であり、当市も住民サービス向上の観点で対応を。

**答** 現在、東部二二市町で住民票・印鑑証明など

広域交付の実施。毎週木曜日は午後七時までの窓口延長を実施のため、コンビニ対応は、必要になれば検討したい。



《コンビニで行政サービスを》

新設された太陽光発電等

設置に対する補助内容は

**問** 温暖化ストップのため、二酸化炭素排出削減が

世界規模で行われている。国・県・地方自治体では温暖化防止策に補助を行なっている。平成二二年度からの市の補助内容は。

**答** 補助対象は、市民で機器の購入・設置の経費。

太陽光発電システム1kw当たり三万五〇〇〇円（最大一四万円）をはじめ七項目である。平成二二年度に限り、対象機器二つ以上設置の場合は県からも補助を受けられる。

スポーツワールド跡地への  
広域ごみ処理施設建設について

**問**

昨年二月、該当の長塚・珍野・花坂三区で説明会が行われ、厳しい意見や反対意見が出たが、住民の反応をどう受け止めているか。また、三区の反対が非常に強いなか、今後の進め方は。

**答**

本事業は、迷惑施設のイメージが強い事業と認識している。今回の建設候補地は、これまでも受け入れをいただいている地域であり、ご迷惑をかけてきた経緯もあり、事実を踏まえた意見と受け止めている。今後は、地域から頂いている意見へ対応し、市からも地域へ貢献できることを提案し、話し合いたい。

交通事故対策について

鈴木 照久

**問**

交通事故防止対策は。

**答**

ハード面の対策は、管轄道路の区画線・防護柵・段差解消の為のバリアフリー化・横断歩道の道路照明・カーブミラーの設置等です。ソフト面の対策では、交通安全市民大会を開催し、市民の意識啓発・交通安全運動時の各種事業・各区の交通安全教室への協力等をしていきます。

**問**

若者と高齢者対策は。

**答**

若者への啓発は、企業の従業員や免許更新者に安全運転を呼びかけます。高齢者対策は、反射材の着用・明るい服装・横断歩道の利用を重点に、老人会での講習会や地区交通安全教室で呼びかけます。

**問**

区要望事項の交通安全に関する件数と対策は。

**答**

要望件数は七九件。実施の主な内訳は、カーブミラー関係 二五件 歩道・歩道帯設置 一三件

転落・横断防護柵設置 八件 信号機・横断歩道設置 八件 対策は、運転者のモラル・自転車や歩行者の安全意識の向上が必要と思われます。



交通指導

自殺者対策について

**問**

自殺予防対策・今後の課題は。

**答**

自殺者の多い六〇歳〜七〇歳代を念頭に置き、相談体制の整備・見守り相談員の養成・予防啓発活動など「気づき・つながり・見守り」が出来る様広報します。

**問**

中学校の部活動対策について 加入率と部活数、及び今後の対応策は。

**答** 加入率は、九五、五％です。部活数は、一五から一九種類です。(三中学)

各部とも十分な部員数を確保している。指導者不足については、保護者・地域の方々の協力を得てカバーしたいです。

今後は、社会教育関係団体との連携等、運営の工夫も検討したいと考えております。

### 食物残渣堆肥化についての課題の解決状況

渡邊 俊一

**問** 食物残渣・家庭での生ゴミの処理に当たっては、燃やせるゴミとして処理されていますが、水分が多く補助燃料が必要でした。

また、燃焼させる事で発生する温室効果ガスのCO<sub>2</sub>は地球環境上から問題となっていました。

畜産業が中山間地に追いやられた原因は、臭気の問題

が大きいのと思われる。

堆肥化施設での悪臭の問題は少ないと思いますが、施設の運転開始後に境界地での臭気の官能検査を実施した上で、きちつと地元住民への説明を行うよう要望いたします。

しかしながら、この堆肥化施設の運用に当たっては、いくつかの課題が有りましたのでその解決状況についてお尋ねします。

**答** 旅館・ホテル・給食センターからの食物残渣

には、異物の混入が無い様に分別して頂ける事を確認しています。もし、混入があっても最終的には選別器で除去出来ず。

原料となる牛糞、生ゴミは搬入時点で悪臭が発生する前に、戻し堆肥や水分調整剤、醗酵菌を混合し、攪拌してから一次醗酵槽に移す事で原料からの臭気は抑えられます。

醗酵槽から発生する悪臭で

ですが、この施設には悪臭の発生が少ないので脱臭装置を設けていません。

次に安定した品質の確保ですが、試験段階で製造された堆肥をその都度分析しましたが、品質の安定は図られています。

最後に安定した需要の開拓ですが、普及の啓発を第一に考えております。農業関係団体や市内農家を中心に有効性をPRして需要を高めて行きたいと思っております。



高機能野菜 プチヴェール

### 女性が活躍できる

#### 地域づくりについて

天野 佐代里

**問** 市の組織見直しはどのように検討しているか。

**答** 自治体を取り巻く状況は大きく変化しており、部や課のあり方を含め見直しを行ない、平成二三年度当初の組織改正を目標に見直しを図りたい。

**問** 市の女性管理職の現況と登用対策は。

**答** 一般職の課長一名と幼稚園保育園園長一〇名。

女性管理職の登用も十分配慮して、能力や成果に基づく公正な評価を徹底し、活力ある職場づくりを目指したい。

**問** 女性が活躍できる地域社会づくりは。

**答** 仕事と家事育児の両立の理解と助け合いが大切である。その視点に立った考え方が浸透するような講座や研修会を計画し、自己の個性や能力を最大限に発揮できる社会になるよう取組みたい。

### 経済の活性化に

#### 地域通貨の検討を

**問** 国内国外で様々な使われ方をしている地域

通貨は、環境問題に対する関心が高まり、エコツーリズム・ボランティアリズムの活動が広まる中、見直され始めています。人・物・金が回る仕組みが活性化に繋がると考え、農商工観光業のバランスが良い当市で汎用性は高いと思うが。

**答** 地域経済の活性化には農商工団体との連携が不可欠であると考え、地域通貨は人間関係を深くし、地域経済の振興に寄与する一つの施策になると考えるので、商工会などが、商品券発行の経験を生かして導入の具体的計画があれば、県への助言要請や研究を含め何らかの支援策を検討したい。

低・未利用市有地の

「個別財産運用方針」について

山下孝志

銀葉山支店跡地・旧葉山中央公民館跡地の境界確定測量を実施し、旧伊豆箱根グラウンドは公園として整備する。

**問** 方針決定の目的は。

予防接種事業の拡大と

公費助成について

**答** 市内一七箇所を選定し、事業用地と処分用地に振り分けを行い、土地売却による財源の確保と宅地分譲となれば、固定資産税に加え市民税の増収も期待できる。

**問** 子宮頸がんワクチンの接種費用に対する公費助成の実施を。

助成の実施を。

**答** 子宮頸がん予防に必要

**答** 子宮頸がん予防に必要

**問** 財産運用の区分は。

**答** 近年子どもを対象とする

**答** ①処分対象地 将来的に具体的な利用計画がなく、売り払い土地一〇箇所。

**問** 小児用肺炎球菌ワクチン接種に対する公費助成の実施を。

成の実施を。

**答** ②事業予定地 行政目的に見込みのある土地三箇所。

**答** 近年子どもを対象とする

**答** ③継続保有地 事業計画はないが、処分するに不相当と見込まれる土地四箇所。

**問** 平成二二年度事業は。

**答** 承認され、国も対象となる疾病・ワクチンのあり方、費用負担などの協議を進めている。今後国の動向を見ながら検討していきたい。

**答** 旧向山住宅跡地・旧葉山東幼稚園跡地・旧静

議会改革特別委員会

平成二二年度

「議会改革調査検討特別委員会」

報告概要

委員長 鳥居 松彦

市議会が、市民の期待に真に応え得るかを調査検討しました。結果は、必ずしも期待される議会であるとは、言えないところもありました。一言で言えば、議会と市民との距離感や透明性ということなどが課題かと思えます。

以前から、議会改革の声は寄せられていましたが、いくつかの項目を検討し、平成二〇年九月議会で議員定数を二名減じ、二二名にしました。更なる改革を進めるため、平成二二年九月議会で、「議会改革調査検討特別委員会」を設置しました。

委員会は、平成二二年三月までに、八回にわたって調査検討を行い、次の四項目について報告しました。

①議会基本条例について

議会運営・議員の責務や活動原則・市民との関係・市長等との関係などを内容とする条例の制定をすべき。

②政務調査費・会派について

会派制度は、政策集団としての意義や短所が、また、政務調査費は委員会の視察研修や費用弁償などとの関連などさらなる検討をすべき。

③議会の公開・情報発信に向けた取り組みについて

市民への情報提供を積極的に取り組むべき。

④議会改革に関する事項について

地方分権時代に対応すべく、資料提供や研修会を実施。

報告のまとめとして、「伊豆の国市議会基本条例」の制定に向け、更なる検討・協議の場としての特別委員会の設置を求めました。

平成二二年度

「議会制度改革特別委員会」設置

前年度に引き続き、議会改革を推進するために、議会運営の原則及び議員活動等の基本事項を盛り込んだ「伊豆の国市議会基本条例」の制定に向けて、特別委員会を設置する。

◇議会制度改革特別委員会

◇議会に関する基本事項を内容とする条例の制定及び議会改革の推進。

◇①「伊豆の国市議会基本条例」の原案の策定。

◇②議会改革の推進

◇委員定数九人

◎鳥居 松彦 ○板垣 紀夫

水口 哲雄  
三好 陽子 古屋 鋭治 田中 正男  
松下 善洋 鈴木平一郎 高橋 公一

◇調査期限は、平成二三年三月定例会までとする。  
(◎委員長○副委員長)

# 委員会の報告

平成22年3月定例会において、3常任委員会に付託された平成22年度予算・条例改正など審査し、各委員会で原案のとおり可決されました。

## 総務委員会

### 平成二二年度一般会計補正予算

#### ■基金管理事業

補正予算額三億一四四二万円、主なものとして財政調整基金積立金三億八七六万円です。

#### ■土地取得事業

静雲荘跡地、五五一六㎡を、三億五〇〇〇万円で購入したい。

### 平成二二年度一般会計予算

#### ■基幹統計調査事業

平成二二年は国勢調査の年、葦山支所を実施本部にし、三〇〇人体制で進めていく。

#### ■生活支援バス運行事業は

葦山奈古谷地区、大仁東部中山間地区のそれぞれの小学生・幼稚園児とバス路線のない田中山地区、及び、中学生の通学支援を目的に補助する。

#### ■企業立地を促進

土地利用状況調査結果をもとに、企業訪問しPRに努める。また、情報収集し補助制度による企業誘致や既存企業の

定着と浸透を進めていく。

#### ■浮橋温泉利用方法について

半年間二四時間くみ上げ続け水位変化の様子を見る。専門家を招き、地区の皆さんと一緒に地域のまちづくりをはじめていく。

#### ■コミュニティFM放送局は

当市にFM局が必要なのか、設置までの経緯や経営、運営に関する実態調査、意識調査を伊豆市とともに検討していきたい。

#### ■未利用地の測量について

公売するので、四力所の測量を計画する。場所は、葦山東幼稚園、旧静岡銀行葦山支店、旧葦山中央公民館、旧向山市営住宅のそれぞれの跡地。公売方法は、一般競争入札で行い、広報・ホームページ・新聞に掲載する。

#### ■各区の交付金内訳は

基本割は、一〇〇世帯以下一〇万円、二〇〇一世帯以上三五万円の間を六段階に分けている。人口割は、一人三〇〇円。世帯割は、一世帯四〇〇円である。

#### ■市税の収納率を上げる手段、手法は

差し押さえ物件をインターネット公売サイトを利用し税収を確保する。また、公売実施を広報することにより、滞納を抑制し折衝方法の効果があがる。

また、財務省国税局OBに有効的な手段について、指導を受けている。

#### ■防災行政無線デジタル化整備事業について

平成一八年度から二二年度まで、五ヶ年をかけて行われてきた事業で、長岡・葦山地区は既に整備済みであり、今年度、大仁地区がデジタル化する。戸別受信機は、そのまま使える状態にし、今後は東海通信局と相談しながら考えていく。

### 国民健康保険特別会計

#### ■被保険者数と一般会計からの繰入金は

被保険者数一万七三三三人、世帯数九五三三世帯。介護二号被保険者（四〇歳から六四歳）六六一人となっている。一般会計より、一人当たり七四〇〇円繰入している。県

平均は、五〇〇〇円である。

### 後期高齢者医療特別会計

#### ■被保険者数徴収内容は

被保険者数五七六二人、特別徴収四七一六人、普通徴収三三一人、併徴者一九六八人となっている。

#### ■市職員の給与、勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

平成二二年四月一日に、改正労働基準法が施行することにあわせ、職員の給与条例に関する条例、勤務時間、休暇等に関する条例、企業職員の給与の種類及び基準に関する条例に係ってくる。

#### ■国民健康保険税条例の一部改正について

基礎課税額の限度額について、四五万円から四七万円に、後期高齢者支援金等の課税額の限度額は、二万円から二二万円に、介護納付金課税額の限度額については、九万円から一〇万円にそれぞれ増額になる。影響の出る世帯は、一二四七世帯、限度オーバーになる世帯が、九八四世帯になる。

**平成二二年度一般会計予算**

■観光振興費一億三〇六万円の費用対効果は

今後観光協会の事務処理を透明化し、費用対効果をしっかりと見ていくために、協会は四月に社団法人化します。

■前年度より増額された消費者行政推進事業費七四万七〇〇〇円は

県の消費者行政活性化基金事業補助金四三万三〇〇〇円を活用し、相談員を増員して毎週一回月曜日に相談を受け付けることで、消費者被害から市民を守っていきます。

■伊豆の国市パスポート事業一二〇万円の効果は五〇〇〇冊のうち七〇〇冊程度の発行。普及の促進が課題。

■担庵合唱祭推進事業四〇〇万円は

「担庵合唱コンクール」として平成二三年二月〜三月に予定。合唱団募集は二〇団体で、出来れば市内宿泊の条件を付けたいです。



合唱祭

■公園管理費の公園施設維持補修事業三二九五万円の内訳は

広瀬公園プール底面塗装工事一八五〇万円と、狩野川リバーサイドパーク駐車場整備工事六〇〇万円、及び修繕費等であります。

■地籍調査事業四二四九万三〇〇〇円の内訳は

長岡地区の測量設計委託料

三七〇九万六〇〇円と、基準杭設置業務委託料等であります。

■道路橋梁維持費の道路施設維持補修事業七五七〇万九〇〇〇円は

道路維持補修工事三二二〇万円と舗装補修工事三四〇〇万円等が主なものです。

■市の花普及事業の五三〇万円の内訳は

市の花「あやめ」を二万五〇〇〇株を育苗し、市民や観光客に観賞していただく公園を造ります。

■地球温暖化対策推進事業の住宅用エネルギー機器等導入補助金四七八万円は

太陽光発電システム・温水器・給湯器など新エネルギーに関する機器の導入による補助金五七件分。

■堆肥化施設建設工事は「安心・安全のまちづくり事業」の中で行っており、平成二〇年〜二三年の継続事業。総事業費二億三五〇万円。

■広域廃棄物処理施設整備事業の進捗状況は

地区・地域説明会を開催したが、今のところ地元理解が得られていません。

■森林ボランティア育成事業の四一四万三〇〇〇円は

二月に「竹燈籠祭り」の実施。イベントは野外コンサート・竹のオブジェの展示・売店など。



竹灯籠祭り

楠木及び天野揚水場管理 特別会計

予算総額は、歳入歳出九七〇万円。維持管理事業が主です。

簡易水道等事業特別会計

大仁地区の簡易水道で、予算総額は歳入歳出四七七〇万円。維持管理費と新規に簡易水道管網図入力業務委託料や配水管・導水管の布設替工事があります。

下水道事業特別会計

予算総額は歳入歳出一三億一八二〇万円。歳出では狩野川流域下水道維持管理負担金が多くを占めています。

上水道事業会計

水道料金の統一を審議会で検討されているが、まだ、旧三町毎の会計別に管理され、利益計上されています。

福祉文教委員会

平成二二年度一般会計補正予算

■繰越明許費の内訳は

長岡幼稚園建設事業の仮園舎リース料二五二〇万円、共和幼稚園建設事業の地質調査業務委託料二八万七〇〇円、田京幼稚園建設事業の造成工事二六〇〇万円。

平成二二年度一般会計予算

■特別児童扶養手当とは

精神または身体に障がいがある二〇歳未満の方の福祉増進を図ることを目的として、

その方の保護者に対して支給される国の手当。支給対象者は、一級（概ね、身体障害者手帳一〜二級、療育手帳A判定程度）が、月額五万七五〇円（対象者三人。二級（概ね、身体障害者手帳三〜四級、療育手帳B判定程度）が、月額三万三

八〇〇円で対象者三人。

■子ども手当給付事業八億

四八一四万八〇〇〇円は

月額一万三〇〇〇円の一〇カ月分。公務員（市職員分は人件費として予算計上してある）を除いた六六〇〇人分。

■地域子育て創生事業補助金一四九三万九〇〇〇円は

県の安心こども基金をもとにした事業で、「地域子育て支援拠点施設等防犯カメラ設置事業」として、学童保育六施設、児童館一施設、地域子育て支援センター二施設に四

台ずつ計三六台の防犯カメラを設置する。

インフルエンザ等感染症対策事業として、市内幼稚園七園に三六台の空気清浄機を設置する。

■大仁中学校舎等建設事業

四億四一〇〇万円は

第一グラウンド整備工事（グラウンド一万五九八㎡・テニスコート二七九五㎡）、本

校舎解体工事、部室棟建設工事（延床面積一六〇〇㎡）。



長岡幼稚園仮園舎

■長岡幼稚園建設事業四億

四九八九万一〇〇〇円は

園舎建設工事監理業務委託、仮園舎リース料、園舎建築工事（木造平屋建、延床面積一六〇〇㎡）、電気設備工事、機械設備工事。

■田京幼稚園建設事業三億

九六七七万九〇〇〇円は

園舎建設工事監理業務委託、園舎解体工事設計業務委託、園舎建築工事（鉄骨造・平屋建、延床面積一四〇〇㎡）、電気設備工事、機械設備工事。

■共和幼稚園建設事業一

〇〇一六六〇〇〇円は

許認可申請業務委託、耐震補強工事実施設計業務委託、

大規模改修工事実施設計業務委託、増築工事実施設計業務委託。

介護保険特別会計

■介護認定者の内訳は

平成二二年一月三〇日現在、一七六一人。

第一被保険者六五歳以上一六八八人、第二被保険者四〇歳から六四歳まで七三人。介護度別では、

介護度	人数	%
要支援一	一三〇人	七.四%
要支援二	二六三人	一四.九%
要介護一	二五〇人	一四.二%
要介護二	二九〇人	一六.五%
要介護三	三二五人	一七.九%
要介護四	三二七人	一八.〇%
要介護五	一九六人	一一.一%

条例の廃止

■大仁中学校生徒の通学費の補助に関する条例の廃止は

市内の小中学校の通学費の補助に関する要綱として一元化するための廃止。

（新）小中学校児童生徒遠距離通学費補助金要綱の内容は、路線バスが運行されている地区はバス利用で、小学生については片道三km・中学生については片道五km（自転車通学が認められていない中学生については片道三km）路線バス通学定期券の六五%補助。

路線バスが運行されていない地区は、自家用車を利用。片道三km以上の小学生の場合は、片道の距離から三kmを引いた「1km当たり三七円」に授業出席日数を乗じた額を補助する。

片道5km以上の中学生の場合は、片道の距離から5kmを引いた「1km当たり三七円」に授業出席日数を乗じた額を補助する。

旧大仁小田中山分校学区については、自主運行バス及び公用车利用とし、新要綱適用外。対象者は、平成二二年度六八人から平成二二年度は一八八人に増加。

# 平成22年 第1回(3月)伊豆の国市議会定例会

3月定例会は、3月2日から23日までの22日間の会期で行われ、条例改正や平成21年度補正予算、平成22年度一般会計・特別会計予算を中心に審議・可決された。議員決議による議会制度改革特別委員会の設置、議員発議による意見書の採択なども行われた。

## 議 案 一 覧

- ◆伊豆の国市人事行政の運営等の公表に関する条例の一部改正について
- ◆伊豆の国市職員の給与、勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
- ◆伊豆の国市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について
- ◆伊豆の国市消防団条例の一部改正について
- ◆伊豆の国市国民健康保険税条例の一部改正について
- ◆大仁中学校生徒の通学費の補助に関する条例の廃止について
- ◆伊豆の国市下水道事業運営審議会条例の制定について
- ◆平成21年度伊豆の国市一般会計補正予算(第7号・8号)  
静雲荘跡地を普通財産として取得するための補正予算3億5,000万円などが審議可決された。
- ◆平成21年度伊豆の国市各特別会計補正予算  
[国民健康保険特別会計(第5号)・後期高齢者医療特別会計(第2号)・老人保健特別会計(第2号)・介護保健特別会計(第5号)・楠木及び天野揚水場管理特別会計(第2号)・下水道事業特別会計(第4号)]
- ◆駿豆地区広域市町村圏協議会の廃止について
- ◆静岡県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について
- ◆駿豆学園管理組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約の変更について
- ◆市道路線の廃止・認定について
- ◆平成22年度伊豆の国市一般会計予算  
子ども手当給付事業(新設)8億4814万8000円、防災行政無線デジタル化整備事業(最終年度)1億7835万円など、歳入歳出総額172億8000万円の予算が審議可決された。
- ◆平成22年度伊豆の国市各特別会計予算等  
[国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・老人保健特別会計・介護保健特別会計・楠木及び天野揚水場管理特別会計・簡易水道等事業特別会計・下水道事業特別会計・上水道事業会計]
- ◆防災行政無線デジタル化整備後も既存の戸別受信機の使用を求める請願書について
- ◆伊豆の国市教育委員会委員の任命の同意について

## 議 員 提 案 や 決 議 ・ 発 議

- ◆伊豆の国市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
- ◆議会制度改革特別委員会の設置についての決議
- ◆子ども手当財源の地方負担に反対する意見書の提出について
- ◆生産性の高い競争力に富んだ農家の育成を求める意見書の提出について
- ◆政治資金規正法の制裁強化を求める意見書の提出について
- ◆国として直接地方の声を聞く新たな仕組みを構築することを求める意見書の提出について

### ▶▶▶ 次回議会の予定 ▶▶▶

平成22年 第2回6月定例会 日 程 予 定	
6/14	議会初日
6/15,16	一般質問
6/25	最終日

## 編集後記

先日、一通の封書が届きました。中には手紙と数枚の資料が入っていました。観光会社の社長さんから、「先日企業誘致の一般質問を議会だよりで見ました。」との事で、この事への私見と資料でした。

議会だよりの編集に携わり一年、市民の皆様の中で議会だよりの生きていることを実感した次第です。また、同僚議員も「議会だよりの記事を読んだ市民より電話相談があり、話し合いに行って来ました。」と話していました。

これからもわかりやすい紙面作りに一層努力し、市民の皆様に様々な議会の内容をお届けできるように心がけて行こうと思っております。

議会や議会だよりへの御意見、御要望などございましたら、事務局までお寄せ下さい。(幸)

## 議会だより 特別委員会

委員長	後藤 眞一
副委員長	鈴木 平一郎
委員	天野 佐代里
鈴木 幸久	鈴木 幸久
鈴木 幸久	鈴木 幸久
水口 成男	水口 成男